

英米文化学会会報

第 79 号

平成 21 年 5 月 15 日



日没直後のアトランタ。帰り道を急ぐ車列の向こうで、不動の巨人たちが空を画す。

(撮影：佐野、2007年9月)

目次

- ◆ 例会担当より 英米文化学会 第 129 回例会・臨時総会のお知らせ
- ◆ 大会担当より 英米文化学会第 27 回大会日程と講演・研究発表のお知らせ
- ◆ 大会事務局より 第 27 回松江大会の宿泊と交通機関の予約について
- ◆ アマゾン書店での購入は学会ホームページのトップから！
- ◆ 学術担当より 負担金（掲載料）改訂のお知らせ
- ◆ 英米文化学会組織一覧
- ◆ 財務担当より 財務から年会費納入のお願い
- ◆ 事務局より 会員消息・訃報

◆英米文化学会第 129回例会・臨時総会のお知らせ

(担当：小林弘理事)

例会日時：平成 21 年 6 月 13 日(土) 午後 3 時 00 分～5 時 30 分

(例会受付開始：午後 2 時 30 分)

場所：法政大学市ヶ谷キャンパス 55 年館 564 教室<正門の真正面の建物です>

JR 総武線および地下鉄有楽町線、南北線市ヶ谷・飯田橋徒歩 5 分、(p.4 に地図を掲載)

地下鉄新宿線・大江戸線市ヶ谷駅徒歩 5 分、東西線飯田橋駅徒歩 5 分

臨時総会 会場：例会同様、564 教室（例会に続いて臨時総会を開催します）
時間：午後 5 時 30 分～5 時 50 分

懇親会 会場：法政大学（市ヶ谷）ボアソナード・タワー25 階
「スタッフクラブ」
時間：午後 6 時 00 分～8 時 00 分
会費：2000 円 懇親会のみへの参加も歓迎いたします。

例会開会挨拶
会長 小野 昌（城西大学）
(3:00—3:10)

研究発表

1. ズイーナは加害者か？
— イーディス・ウォートンの『イーサン・フロム』を読む —
(3:10—3:50)
発表 西垣有夏（京都学園大学）
司会 君塚淳一（茨城大学）

2. 「ロジャー・マルヴィンの埋葬」における一考察
— ホーソン作品の生と死、再生をめぐって —
(3:50—4:30)
発表 西山里枝（玉川大学）
司会 丹羽正子（昭和女子大学）

————— 小休止(4:30—4:40) —————

3. パロディ化された「悲劇」の主人公
— Tennessee Williams の *And Tell Sad Stories of the Deaths of Queens* —
(4:40—5:20)
発表 古木圭子（京都学園大学）
司会 河内裕二（明星大学）

閉会の挨拶
理事長 石川郁二（法政大学）
(5:20—5:30)

研究発表抄録

1. ズイーナは加害者か？
—イーディス・ウォートンの『イーサン・フロム』を読む—
西垣有夏（京都学園大学）

ズイーナは本当に加害者なのか？Edith Wharton の *Ethan Frome* はタイトル通り主人公イーサンを中心にニューイングランドの農場での貧困生活から脱却するのを夢見るも墮落していく過程が描かれている。イーサンの妻ズイーナは彼

にとっておぞましい存在で、あたかも彼を威圧するかのようである。ズイーナが故意にイーサンに危害を与える描写は作中はない。むしろ彼女には持病があり、彼女が過ごす空間は家の中、それも台所にほぼ限定され、夫イーサンと彼女の身内にあたるマティー以外との人物との交流はほとんどない。このようなズイーナがなぜイーサンの人生を転落させることになるのか疑問が残る。

本発表では、ズイーナを中心にイーサンやマティーとの関係をふまえ、なぜ彼女がイーサンの成功を妨げるような人物として描かれているのか考察する。

2. 「ロジャー・マルヴィンの埋葬」における一考察

—ホーソン作品の生と死、再生をめぐる—

西山 里枝 (玉川大学)

ホーソン (Nathaniel Hawthorne) の初期の短編「ロジャー・マルヴィンの埋葬」(“Roger Malvin’s Burial”) は彼の創作活動の出発点となる作品の一つと言える。タイトルの通り、ある男性の死と埋葬について語られるが全体を通し象徴性や曖昧性、罪と贖罪の問題が中心に描写されている。

また「ラヴェルの戦い」(1725) という歴史的背景が「ロジャー・マルヴィンの埋葬」と密接に関連し、生と死、精神的再生を作中に描く事で登場人物に希望の光を見出させている。ホーソンは、人間の心の奥底にある邪悪な性質を史実と絡み合わせ、物語のあらましに現実味を与えた。その邪悪な性質は彼の先祖の所業により、罪の意識に苛まれていた自身の悲観の表れと言え「ロジャー・マルヴィンの埋葬」は後の多くの作品で描かれる様々な主題の萌芽となるものを含んでいる。本発表では史実も踏まえ真の創作意図を考察する。

3. パロディ化された「悲劇」の主人公

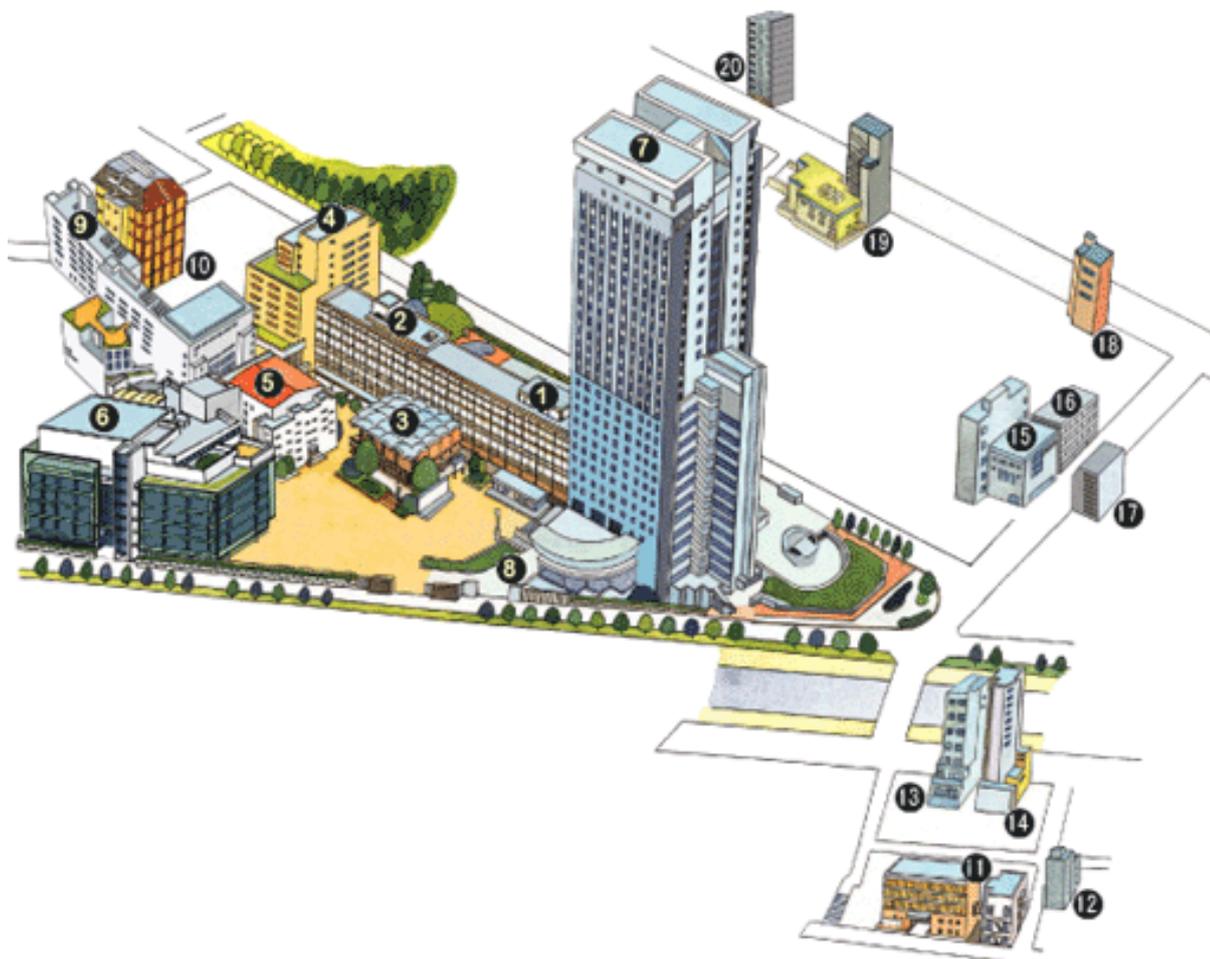
—Tennessee Williams の *And Tell Sad Stories of the Deaths of Queens*—

古木 圭子 (京都学園大学)

テネシー・ウィリアムズ (Tennessee Williams) の *And Tell Sad Stories of the Deaths of Queens* は、『欲望という名の電車』(*A Streetcar Named Desire*) のパロディとして読むことが可能である。両作品の主人公であるキャンディ (Candy)、ブランチ (Blanche) は、別れた恋人、あるいは亡き夫との思い出を夢の中で美化するが、結局は男性の暴力によってその夢を破壊される。しかし、前者はあくまで「喜劇」として描かれ、悲劇の主人公ブランチは、服装倒錯者の「クイーン」キャンディへと変貌する。この変貌は、ブランチ=同性愛者の男性が女性に「異装」した者とする先行研究の解釈を正当づけるものではなく、むしろ両主人公に共通する潜在的芸術性を、異なったジェンダー、セクシュアリティを用いて描こうする試みであったという観点から、両作品の関係を考察する。

第 129 回例会会場（法政大学市ヶ谷キャンパス<富士見校舎> 55 年館）

JR・地下鉄：JR 総武線および地下鉄有楽町線・東西線・南北線・新宿線・大江戸線の飯田橋駅・市ヶ谷駅利用



①の建物が 55 年館。正門から入ると、最も高い建物⑦（ボアソナード・タワー）の左側

◆英米文化学会 第 27 回大会 日程と講演・研究発表のお知らせ
(大会担当理事：高取康之)

於：松江テルサ（松江勤労者総合福祉センター）（p.7に地図を掲載）
〒690-0003 島根県松江市朝日町 478-18（JR 松江駅前）

9月12日（土） 松江テルサ 4階 大会議室

受付 14：30～

講演 15：00～16：30

懇親会なし（各自で夕食をおとりください）

9月13日（日） 松江テルサ 4階 中会議室

受付 9：30～

研究発表 10：00～16：30

懇親会なし

9月14日（月）

エクスカーション 8：40（JR松江駅南口）～18：00（出雲空港）～JR松江駅（18：30）

<講演> 12日 15：00～16：30

「小泉八雲の宗教的信条 — 仏教思想と進化論を超えて」

大東俊一（人間総合科学大学教授）

<研究発表> 13日 10：00～16：30

- (1) 『フィラスター』の女主人公の忍耐 蒔田裕美（清泉女子大学大学院）
- (2) ジャパニメーションの翻訳におけるセリフの間と沈黙について 安達励人（倉敷市立短期大学）
- (3) 思想弾圧と大衆教化
—Thomas Paineの *Rights of Man* と Hannah Moreの *Village Politics*—
閑田朋子（日本大学）
- (4) 戯曲『チェスゲーム』の問題性 —1624年の上演禁止令の理由を探る—
門野 泉（清泉女子大学）
- (5) 1893年シカゴ万博における「リトル・エジプト」と消費社会のセクシャリティ
宗形賢二（日本大学）
- (6) D. H. ロレンスの後期作品「死の船」と忘却の旅人
須田理恵（日本大学）
- (7) *Vanity Fair*における作中人物名の意味について
中村 豪（昭和女子大学）

***第27回松江大会の宿泊と交通機関の予約について**

会員各位において宿泊施設及び交通機関の確保をお願いいたします。

航空機・JRとホテル・旅館とをセットにした安価なパッケージ商品が、JTB、近畿日本ツーリスト、日本旅行などの旅行代理店で販売されておりますのでご利用ください。なお、JRは乗車日の1ヶ月前、航空機は搭乗日の2ヶ月前より乗車券・搭乗券を発売しますが、パッケージ商品の場合はそれよりも早くから予約可能ですので、各自でお早目のご予約をお願い致します。

東京、大阪からの航空便で、9月12日(土)の大会受付け開始までに会場に到着するには、東京からはJAL1665便(東京発11:00、出雲着12:25)、大阪からはJAC2345便(大阪発10:55、出雲着11:55)までの便をご利用願います。出雲空港からJR松江駅前の松江テルサまでは連絡バスで約30分です。また、9月14日(月)のエキスカーション終了後、東京へはJAL1672便(出雲発19:35、東京着21:00)、大阪へはJAC2358便(出雲発19:00、大阪着19:55)をご利用ください。なお、JAL便が満席の際には、東京からは米子空港への便をご利用頂くことも可能です。米子空港からJR松江駅までも路線バスにて40分ほどです。

お車等でお出かけの方で、宿泊施設だけをご希望の方は、同封しました「宿泊申込書」にて、各自のご責任にて「一畑(いちばた)トラベルサービス」にお申し込みください。

***9月14日(土)のエキスカーションについて**

お申し込みは、同封しました「エキスカーション申込書」にて8月10日までに、直接、一畑トラベルサービスまでお願い致します。ご家族の方のご参加も大歓迎です。

なお、小泉八雲旧居では当主の根岸道子氏による解説がある予定です。

大会事務局：人間総合科学大学人間科学部 大東 俊一研究室内

〒101-8360 さいたま市岩槻区馬込 1288

TEL：048-749-6111 E-mail：ShunichiDaito(at)SES-online.jp

<おことわり>

メールアドレスの表記については、@入りのメールアドレスを検索・流用して迷惑メールを送りつける悪質な業者が、昨今、多いようですので、「@」を「(at)」に置き換えて表記させていただいております。メール作成のときには、お手数とは存じますが(at)を@に置き換えてご送信いただきたくお願いいたします。



英米文化学会第27回大会会場 および周辺図 (松江テルサ)

◆アマゾン書店での購入は学会ホームページのトップから！

英米文化学会は、アマゾン書店（日本版）のアソシエート・メンバーとして、学会ホームページに、アマゾン書店へのリンクを載せています。

学会ホームページ下部にある「参考ページ」から書店に入ると、それ以降は **会員が書店から購入した金額から、一定額が学会に寄付される** 仕組みになっています。アマゾン書店に入る場合は、「毎回」ホームページ上のアマゾン書店のロゴ（黒地に白抜き部分です。右側にはアマゾン書店からのお勧め商品が出てきますので、クリックするとその商品にジャンプしてしまいます）をクリックしてアマゾン書店にお入り下さり、ログインして下さい。

後はいつもと同じように買い物をなさるだけです。

* 学会出版物

『英文学にみる動物の象徴』が図書館協会の選定図書に選ばれました。

◆学術担当より 負担金（掲載料）訂正のお知らせ

（学術担当理事：上野和子）

「学会誌『英米文化』39号より、投稿規程の負担金（掲載料）が改定されています。負担金は一頁につき2,000円となりましたが、『英米文化』39号の投稿規程には反映されていません。ここに改めて訂正し御報告いたします。

◆英米文化学会組織一覧

さる3月14日（土）の総会におきまして、以下のように、
新年度の学会組織が承認されました。各種のお問い合わせ先等、ご確認ください。

理 事 会

常任理事	小野 昌（会長）	MasaruOno(at)SES-online.jp
常任理事	石川郁二（理事長）	IkujiIshikawa(at)SES-online.jp
常任理事	佐藤治夫（副会長）	HaruoSato(at)SES-online.jp
常任理事	曾村充利（副会長）	CBA08568(at)nifty.com
常任理事	大東俊一（事務局長）	ShunichiDaito(at)SES-online.jp
学術担当理事	上野和子	KazukoUeno(at)SES-online.jp
出版担当理事	君塚淳一	JunichiKimizuka(at)SES-online.jp
分科会担当理事	須田理恵	RieSuda(at)SES-online.jp
大会担当理事	高取康之	YasuyukiTakatori(at)SES-online.jp
例会担当理事	小林 弘	HiroshiKobayashi(at)SES-online.jp
広報担当理事	佐野潤一郎	JunichiroSano(at)SES-online.jp
財務担当理事	山根正弘	MasahiroYamane(at)SES-online.jp

会計監査

山下信一 河村博旨

顧問

大島良行 勝浦吉雄 深井宏一 名和雄次郎 高取清

各種問合せ先

- 各種問合せ（転居、勤務先などの会員情報の変更も含む）
事務局長 大東俊一 (ShunichiDaito(at)SES-online.jp)
Home 03-5399-3395
- 『英米文化』への投稿（詳細は投稿規程をご覧ください）
学術担当理事 上野和子 (KazukoUeno(at)SES-online.jp)
Home 03-3425-4678
- 学会による学術出版、出版物に関する問合せ
出版担当理事 君塚淳一 (JunichiKimizuka(at)SES-online.jp)
Home 029-255-6174
- 分科会の設立、状況に関する問合せ
分科会担当理事 須田理恵 (RieSuda(at)SES-online.jp)
Home 03-5560-0839
- 大会での研究発表申込み
大会担当理事 高取康之 (YasuyukiTakatori(at)SES-online.jp)
Home 042-623-5432
- 例会での研究発表申込み
例会担当理事 小林 弘 (HiroshiKobayashi(at)SES-online.jp)
Home 042-925-3658
- 学会報等への投稿、例会・大会関係資料に関する問合せ
広報担当理事 佐野潤一郎 (JunichiroSano(at)SES-online.jp)
Home 080-5404-3256
- 年会費、投稿料について
財務担当理事 山根正弘 (MasahiroYamane(at)SES-online.jp)
Home 042-794-0076

<おことわり>

メールアドレスの表記については、@入りのメールアドレスを検索・流用して迷惑メールを送りつける悪質な業者が、昨今、多いようですので、「@」を「(at)」に置き換えて表記させていただいております。メール作成のときには、お手数とは存じますが(at)を@に置き換えてご送信いただきたくお願いいたします。

◆財務から年会費納入のお願い

(財務担当理事：山根正弘)

平成21年度年会費を同封の郵便振替用紙にて納入をお願いします。
今年度より手数料が加入者負担となりましたので、お知らせ致します。
すでにお振込の方はご容赦下さい。便宜上、全員に発送しています。

納入状況は、財務の山根正弘 MasahiroYamane(at)SES-online.jp にお問合せ下さい。

<おことわり>

メールアドレスの表記については、@入りのメールアドレスを検索・流用して迷惑メールを送りつける悪質な業者が、昨今、多いようですので、「@」を「(at)」に置き換えて表記させていただいております。メール作成のときには、お手数とは存じますが(at)を@に置き換えてご送信いただきたくお願いいたします。

年会費：5,000円

口座番号：00160-7-611777

加入者名：英米文化学会

◆事務局より

(事務局担当理事：大東俊一)

<会員消息>

省略

英米文化学会会報 第79号 編集／発行：英米文化学会 編集責任者：佐野潤一郎
〒181-0012 東京都三鷹市上連雀 5-27-23

英米文化学会事務局 〒339-8539 さいたま市岩槻区馬込 1288 人間総合科学大学人間科学部 大東俊一研究室

Tel:048-749-6111(office), 03-5399-3395(home) E-mail:ShunichiDaito(at)SES-online.jp

年会費等振込先：郵便振替 加入者名 英米文化学会 口座番号 00160-7-611777

学会ホームページ <http://www.SES-online.jp/indexj.html>